

平成15年10月23日
原子力安全対策課
(15-82)
<16時30分記者発表>

高浜発電所2号機の発電停止について
(低圧タービン入口配管フランジ部からの蒸気漏れ)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力82.6万kW)は、平成15年8月1日より第21回定期検査を実施しているが、定期検査の最終段階である調整運転の開始に向けて、10月20日16時42分に原子炉起動、同日23時43分に臨界とした。

その後、22日15時02分より発電を再開(調整運転開始)し、21時30分より電気出力16.5万kW(電気出力20%)で保持し、各部の点検を実施していたところ、3A湿分分離加熱器から第3低圧タービンにつながる配管フランジ部の2箇所からわずかに蒸気が漏れていることを確認した。

21時50分よりフランジ部の締め付け作業を行ったが、漏えいは停止しなかったため、23時10分に原子炉を停止して点検を行うことを決定し、23時40分より出力降下を開始した。

この事象による環境への放射能の影響はない。

[平成15年10月22日23時55分 記者発表済み]

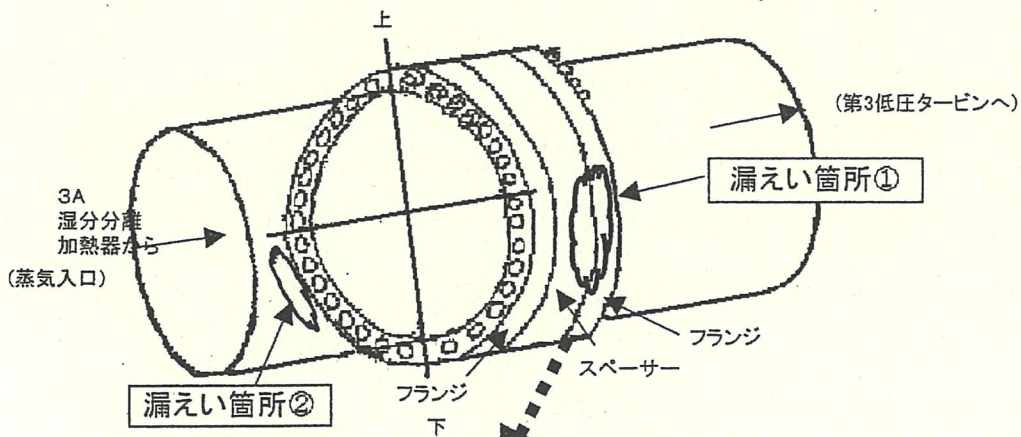
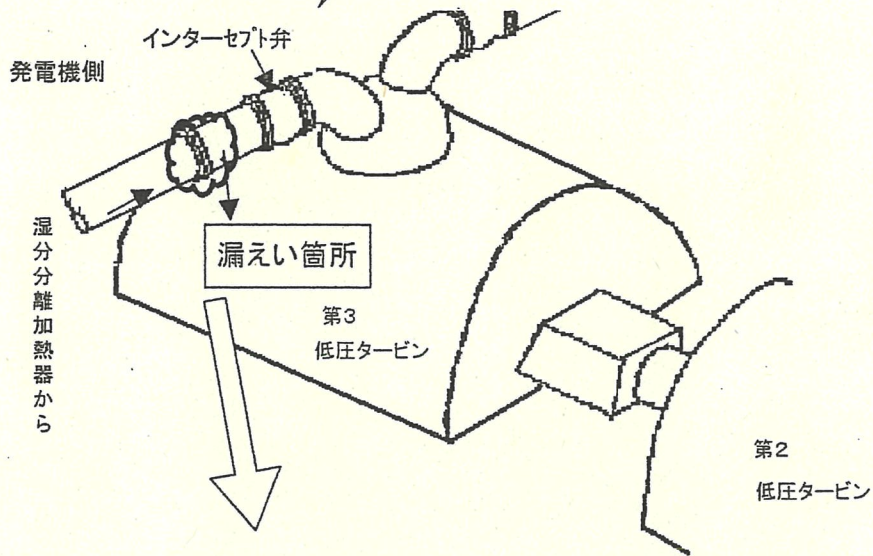
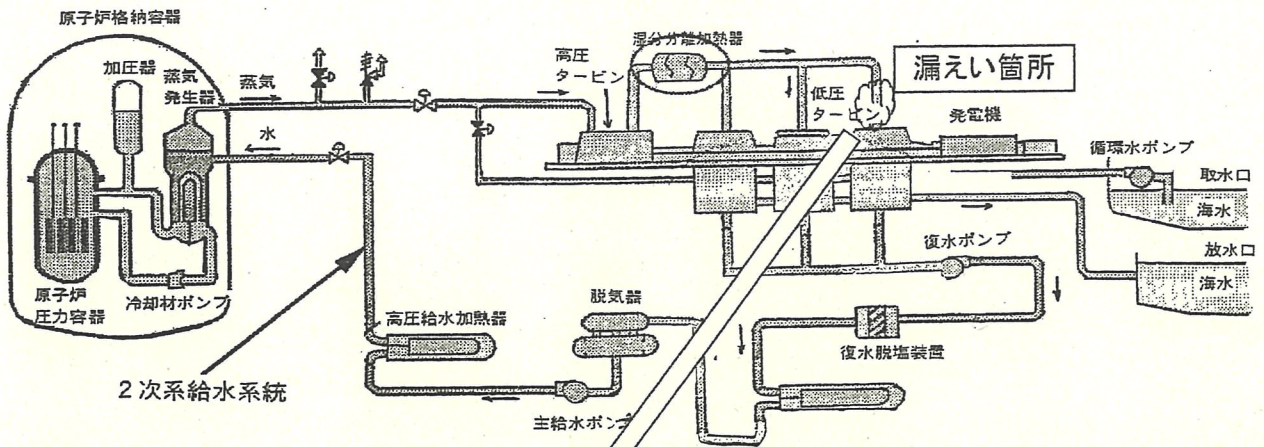
23日1時31分に発電を停止、2時33分に原子炉を停止した後、フランジ部を開放し点検を行った。

調査の結果、フランジ部に取り付けられているパッキン(アスベスト製:リング状)の一部(全体の4分の1程度)が欠損しており、このために蒸気が漏えいしたと推定された。

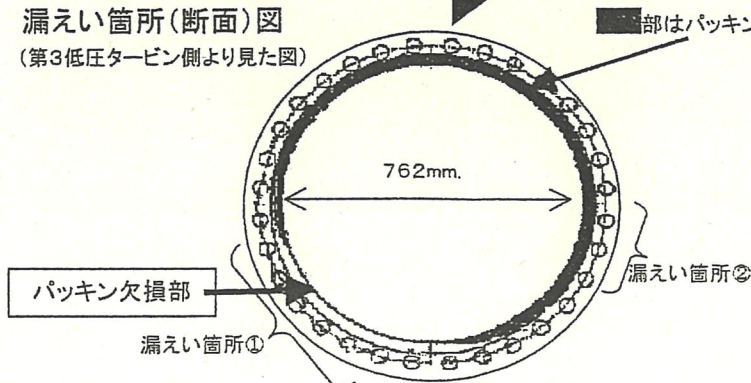
今後、当該フランジ部の下流側の低圧タービン入口部近傍等の目視点検を行い、欠損したパッキンの調査を行うとともに、パッキンが欠損した原因についても検討を行う。

問い合わせ先(担当:小西)
内線2354・直通0776(20)0314

概略系統図



漏えい箇所(断面)図
(第3低圧タービン側より見た図)



パッキン仕様

外径: 855mm
内径: 770mm
厚さ: 1.5mm
材質: アスベスト(石綿)